

平成19年度第1回愛知県周産期医療協議会

議 事 要 約

日時：平成19年6月1日（金） 午後3時から午後5時

場所：名古屋第一赤十字病院 会議室1・2

委員

出席者：安藤委員、石川委員、石田委員、一木委員、岩本委員、岡田(純)委員、岡田(節)委員、可世木委員、木村委員、小山委員、榊原委員、柴田委員、鈴木(悟)委員、鈴木(千)委員、高橋委員、寺澤委員、成田委員、早川委員、二村委員、松澤委員、森川委員、山崎(俊)委員、山崎(嘉)委員（代理）、山田委員、吉田委員

欠席者：

事務局

出席者：愛知県健康福祉部児童家庭課主幹（母子保健グループ）、名古屋市子ども青少年局子育て家庭部子育て支援課長（代理）、名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長、名古屋第一赤十字病院第二産婦人科副部長

欠席者：

司会者：名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長

議 長：安藤会長

1 安藤会長あいさつ

2 吉田技監あいさつ

3 新任委員の紹介・あいさつ

木村委員あいさつ

4 議事

(1) 平成19年度愛知県周産期医療情報システム

- * 情報システムの専門相談事業の入力が煩雑でなかなか行われていない状況にあるため、入力方法の変更を検討しました。資料 1 - 2 のシートに記載のうえ、月に1度事務局に送付していただき、事務局で入力します。
- * 事前に何を目的として、どのデータを収集するのか明確にさせた上で行うことが肝要。
- * 相談件数と搬送受入が出来なかった不応需のデータを収集したい。
- * なかなか搬送病院が見つからず、危険な状態となる妊婦もいる。他病院の現状を理解する為にもこのようなデータはほしい。
- * このようなことをしなくても、年間を通しどれだけ搬送受入を断っているのかの統計を各病院で出すことが出来れば、あえてする必要はない。
- * 厚労省の調査による統計作成とあわせて行えば、さほど苦にはならないのでは。
- * 専門相談事業の入力作業はとりやめ、各病院で年間を通しデータ収集することに変更します。
- * 事務局で収集する内容を協議し、後日早急にお知らせします。

- * 応需業況の更新はかなりされるようになってきました。協議会の出欠席のレスポンスもホームページ上でお願いします。

(2) 平成19年度研修会の事業計画について

- * 各施設にて持ち回りで年間6回～12回実施します。
- * 約18万の予算の枠内で、各施設が企画し、各々の地域医療圏を対象に実施します。
- * 今年度は、尾張地区の公立陶生病院、小牧市民病院、半田市立半田病院、三河地区の安城更生病院、岡崎市民病院は実施をお願い致します。

<既に行われた研修会>

【平成19年5月27日(日)(名古屋医療圏)名古屋市立城北病院】

- * 元葛飾赤十字産院院長 進純郎先生による「自然なお産とこころの子育て～助産師の役割を中心に～」の講演会を開催しました。コメンテーターには東京女子医科大学 母子総合医療センター所長 仁志田博司先生を迎えました。
- * 看護師、助産師から看護学生まで幅広く167名の参加がありました。

<今後の予定>

- * 平成19年6月16日(土)(尾張医療圏)愛知県心身障害者コロニー中央病院

<新生児心肺蘇生法スキルアップコース>

- * 今年度より日本周産期・新生児学会による新生児蘇生法指導者養成講習会が開催されます。協議会としては、愛知県の周産期医療体制の強化・推進のために、講習会参加の交通費の補助を行いたいと思います。
- * 現在、協議会では蘇生人形を5体所有しているため、講習会により県内に指導者を養成することで、今後は協議会の研修事業の一環として県内での同講習会の開催をめざします。
- * 詳細については資料 1-3の『新生児心肺蘇生法スキルアップコース』参加の交通費補助に関する内規をご覧ください。
- * 財源は専門相談運営事業費から30万円を準備します。

(3) 平成19年度愛知県周産期医療調査・研究事業の事業計画について

<低出生体重児における小児期の体格変化と生活習慣に関する調査>

あいち小児保健医療総合センター 山崎 嘉久

- * 詳細については資料 1-4をご参照下さい。
- * 調査方法を関連施設より対象となる児の情報を得て保護者むけに調査票を郵送する方法とすると、個人情報保護法に触れる可能性がある。
- * 調査方法については、後日、山崎先生と検討します。

<愛知県における胚移植妊娠の実態調査：二次調査>

愛知県医師会 可世木 成明

- * 前年度の調査に引き続き、平成19年度の胚移植妊娠症例を登録し、その周産期経過について、ART施設および分娩施設双方の協力を得て、前方視的調査を行います。

<愛知県下の脳血管障害合併母体救急の実態調査>

名古屋第一赤十字病院 石川 薫

- * 主任研究者は石川委員、研究者に大野レディスクリニックの大野泰正先生。
- * 調査結果を大野先生が学会にて愛知県周産期医療協議会協力としたうえで、発表することを検討しています。

(4) 平成19年度特別講演会・調査研究報告会の事業計画について

- * 平成19年12月1日(土)栄ガスビルで、平成18年度の調査・研究報告と講演会を開催します。
- * 調査・研究報告会

< 愛知県における NICU 長期入院児の現況 >

名古屋第一赤十字病院 鬼頭 修

< 疾病発生状況から見た MFICU 必要病床数策定の為の基礎研究 >

名古屋第一赤十字病院 久野 尚彦

< 愛知県における胚移植妊娠の実態調査 >

愛知県医師会理事 可世木 成明

* 特別講演会

演題・講師については現在調整中です。

(5) 平成 1 8 年度愛知県周産期医療調査・研究事業の報告について

< 愛知県における NICU 長期入院児の現況 >

名古屋第一赤十字病院 鬼頭 修

* 詳細は資料 2 をご覧下さい。

* 愛知県には医療ケアが必要な患児を受け入れ可能な施設が少ない。

* 医療体制の設備につながっていくように、研究結果を県にアピールすることも重要ではないか。

< 疾病発生状況から見た MFICU 必要病床数策定の為の基礎研究 >

名古屋第一赤十字病院 久野 尚彦

* 詳細は資料をご覧下さい。

* 協議会に参加されている施設でアンケートが戻ってきていない施設もあるので、ぜひともご協力のほどお願いいたします。

(6) 報告事項

県内周産期医療体制ののぞましい水準について

* 詳細については資料 3 (資料 2) をご参照下さい

* 今年度を通して、ベッド数の確保や総合周産期母子医療センターの配置数等を含め、県内周産期医療体制ののぞましい水準について協議会で検討したいと思います。

* 都道府県によっては総合周産期母子医療センターが複数設置してあり、愛知も設置してはどうか。

* 総合周産期母子医療センターが複数設置されることで補助金等の配分の問題がおきないか。

* 複数設置した場合、補助金も合わせて増加するのか。

* 予算請求の際に国が了承すれば、県としては努力をするが、財源はある程度限られており、その中で調整することが求められると考えられる。

* 現実的には、名古屋第一赤十字病院は赤字ではない為運営費の補助金がないように、資金面でのメリットは意外と少ない。

* 地域周産期母子医療センターに比べ、総合周産期母子医療センターの指定を受けるには、ソフト・ハード両面での条件が非常に厳しい。

* 補助金の問題は別にして、モチベーションの向上や施設のスタッフの励みになる為、地域の為に日々努力している施設は総合周産期母子医療センターに指定しても良いのではないか。

* 指定することで、責務が生まれ、地域の中核となる施設を育てていくことにもなる。

* 国の指針がはっきりしない中で、愛知県として協議会として明白な指針を持って行動することで、愛知県がいかに周産期医療に力をいれ、努力しているかアピールすることが出来る。

* 次回の協議会でも積極的に討議したい。

一般不妊治療費助成事業費補助金について

- * 県は市町村に対して、一般不妊治療の助成を開始することにしました。
- * 正式には6月議会の承認を待って、公表となります。
- * 詳細は資料 3（資料2）をご参照下さい。

愛知県特定不妊治療費助成事業について

- * 詳細は資料 3（資料3）をご参照下さい。

愛知県周産期医療システム体系図

- * システム体系図の中に助産所を加えました。

医療機関用「子どもの虐待対応マニュアル」改訂版

- * 詳細については資料 3 - 1をご参照下さい。
- * 同マニュアルのなかには協議会で作成した医療機関 - 保健機関「連絡票」が紹介されています。

その他

- * 平成17年の妊産婦死亡率が良くないとききましたが、何故よくないのか。
- * このデータは死亡診断書の住所より抽出しているため、一概には地域の周産期医療を反映しているとは限らない。実像を先ず把握すべきだと思います。

(7) その他

名古屋第一赤十字病院総合周産期母子医療センター平成18年度産科部門総括

- * 資料 No.4をご参照下さい。
- * 近隣の中規模施設の分娩取扱い中止により、産科の研修医、助産師の実習の受入が増加し負担が重くなっています。患者が集中し限界に達しつつある為、名古屋第一赤十字病院も分娩制限を開始することとなりました。
- * 愛知県では正常分娩が可能な施設が減少している為、行政は対策を練ってほしい。
- * 名古屋市の二次輪番病院の産婦人科閉鎖により、残りの基幹病院に負担を集中させるのは無理がある。やめていただきたい。

愛知県助産師会からの報告

- * 詳細については資料 5をご参照下さい。

< 次回医療協議会開催について >

- * 平成19年度第2回周産期医療協議会を、平成19年11月16日(金)「名古屋第一赤十字病院 会議室1・2」にて開催します。